

大内中 紺碧 学校通信

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541
〒321-4405 真岡市飯貝1159
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchjhsc>



大内中シンボル・
キャラクター
『モーチモカウ』

学校教育目標
1 意欲をもって学習する生徒
2 健康で実践力に富む生徒
3 豊かな心情をもつ生徒
4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校
令和5年度 第2号
令和5年 5月発行

生徒たちは元気に活動しています！

校長 上野 光男

5月の大型連休も無事終わり、いよいよ夏に向けて、学習や部活動が本番となりました。

中体連の方針で、今年度から春の大会は総体に統合されます。理由はいくつかありますが、生徒の熱中症対策など健康管理の問題や学校行事等日程的な問題が主なものです。3年生にとっては、春の大会が無くなり、夏の総体が今年度、最初で最後の大会になります。大内中魂で、頑張ってもらいたいと思っています。

部活動は、教育効果が高いです。技術の習得はもちろん、体力づくりの観点や精神力を鍛える場、また、主体的な活動を促す場としてなど、生徒たちの成長に大きな影響があります。実際、大人になっても、中学校の時の部活動の楽しかったことや辛かったことなど、思い出深いのではないのでしょうか。大会やコンクールで勝つ、負けるだけでなく、日頃の活動を通して、様々な経験をしてほしいと思っています。

また、4月18日には、3年生が全国、2年生が県、1年生が市の学力テストを実施しました。学力テストを実施する目的は、生徒にとっては、これまでの学習がどれくらい身に付いているかを確認すること。教師にとっても、これまでの指導方法の改善に向けた方策を考えること等、それぞれ有効に活用したいものです。特に、最近の傾向として、知識の量（暗記）よりも、質や活用（主体的考え）を問う問題が多く出題されるようになりました。机に向かっての学習だけでなく、日常生活のあらゆる場面で疑問や課題を持ち、それを自分で解決することを繰り返すことで、確かな学力が身に付きます。

さて、今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、PTA総会が書面決議となりましたが、改めて役員を御紹介します。(敬称略)

PTA会 長 上野 孝明
副会長 堀澤 幸恵
副会長 石並 香織
副会長 小坂英伊子
副会長 豊田 正人(本校教頭)
監 事 秋山 久志
監 事 大塚あかね
監 事 赤羽明日香

厚生体育部長 池田 征樹
研修部長 大塚 道夫
広報部長 川住 直美
1学年委員長 田村 絵美
2学年委員長 野澤万里子
3学年委員長 海賀美由紀

昨年度の大貫会長を始めとする執行部役員の皆様、コロナ禍の中でのPTA活動、大変ありがとうございました。また、上野新会長、新執行部役員の皆様には、PTA活動の更なる発展及び活性化をどうぞよろしくお願いします。

良い学校には、必ず良いPTA活動があります。それを支える一人一人のPTA会員の御協力に感謝申し上げます。



【創立記念講話 4/26 (水)】

創立記念日に先立ち、本校の卒業生である、株式会社サクシード代表取締役社長の水沼啓幸様を講師に招き、『これからの時代をどう生きればいいのか』という題目で約30分間お話しいただきました。水沼様からは、

- ・一日一日を大切にしたい
 - ・中学時代何でもいから打ち込んで欲しい
 - ・よりよい人生を生きて、地域の担い手になる人材になって欲しい
- という話を分かりやすく、そして熱く語っていただきました。



【授業参観 4/28 (金)】

特別の教科道徳の授業を中心に授業参観を行いました。道徳の授業は道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを目的としています。どの学級も真剣に取り組んでいました。



【生徒総会 5/2 (火)】



『全校生徒の、全校生徒による、全校生徒のための』という意識のもと生徒総会が行われました。今年度はタブレットによる資料配布をして、SDG'Sにも挑戦しました。生徒会役員は堂々と発表し、生徒たちからは自発的に質問が出ていました。自分たちの学校を少しでも良くしていこうという気持ちが、生徒たちの表情に表れていました。



←【Web版Q-Uテスト 5/19 (金)】

Q-Uテストとは、生徒の内面を理解したり、学級状態を理解するためのアンケート形式のもので、今年度はタブレットで行いました。Web版は早く結果が出るので、効果的に活用していきます。

※学校のホームページではカラー版を御覧いただけます。

